



AI特許ロケット：2025 知財・情報フェア & コンファレンス出展内容と評価の徹底調査

2025年9月10～12日に東京ビッグサイトで開催された「2025 知財・情報フェア & コンファレンス」では、松尾研究室発スタートアップ〈株式会社エムニ〉が生成AI搭載の知財調査・分析プラットフォーム「AI特許ロケット」を正式公開し、大きな注目を集めた。本稿は同展示の内容、技術的特徴、来場者・業界の評価を総合的に整理し、課題と今後の展望を示す。^{[1] [2]}

1．イベントと出展概要

1.1 フェア全体の状況

今年のフェアは過去最多158社が出展し、来場者15,207名と規模・熱気ともに最大級となった。生成AI関連ツールが目立ち、「知財×AI」が最大のトレンドとして報告されている。^{[1] [3]}

1.2 AI特許ロケットの展示構成

エムニは西4ホールC会場にブースを設置し、常設デモ端末で特許マップ自動生成のハンズオン体験を提供した。ブースでは^[4]

- ・特許母集団アップロード→AIエージェント自動分析
- ・課題／解決手段マップの可視化
- ・類似特許抽出とリスク示唆

を来場者自身のPCで試せる形式を採用し、3日間で延べ540件のデモ予約が埋まったとエムニ公式Xが報告している。^[5]

1.3 プレゼンテーションセッション

AI特許ロケットは公式プレゼン枠を2度取得し、両日とも満席（約130席）となった。^[2]

日付	時間	会場	タイトル	主講演者
9/10	16:05-16:50	C会場 P32	松尾研発！時間・コスト99.9%削減「AI特許ロケット」	下野祐太 CEO
9/11	16:05-16:50	B会場 P90	同上（アップデート版）	同上

講演ではAmplifiedの特許データプラットフォームと連携したAIエージェント検索から、レポート自動生成までをリアルタイムで実演し、平均25分の分析プロセスを示した。^[2]

2．プロダクト技術と差別化要因

2.1 生成AIエージェントによる自律調査

同製品は独自にファインチューニングした特許翻訳特化型LLMを中核とし、検索→要約→クラスタリング→示唆出しをエージェントが自律的に反復する。従来のキーワード式検索に比べ、「背景情報を反映した課題・解決手段ベース類似度」で文献を選別できる点が特徴と説明された。^{[4] [6] [7]}

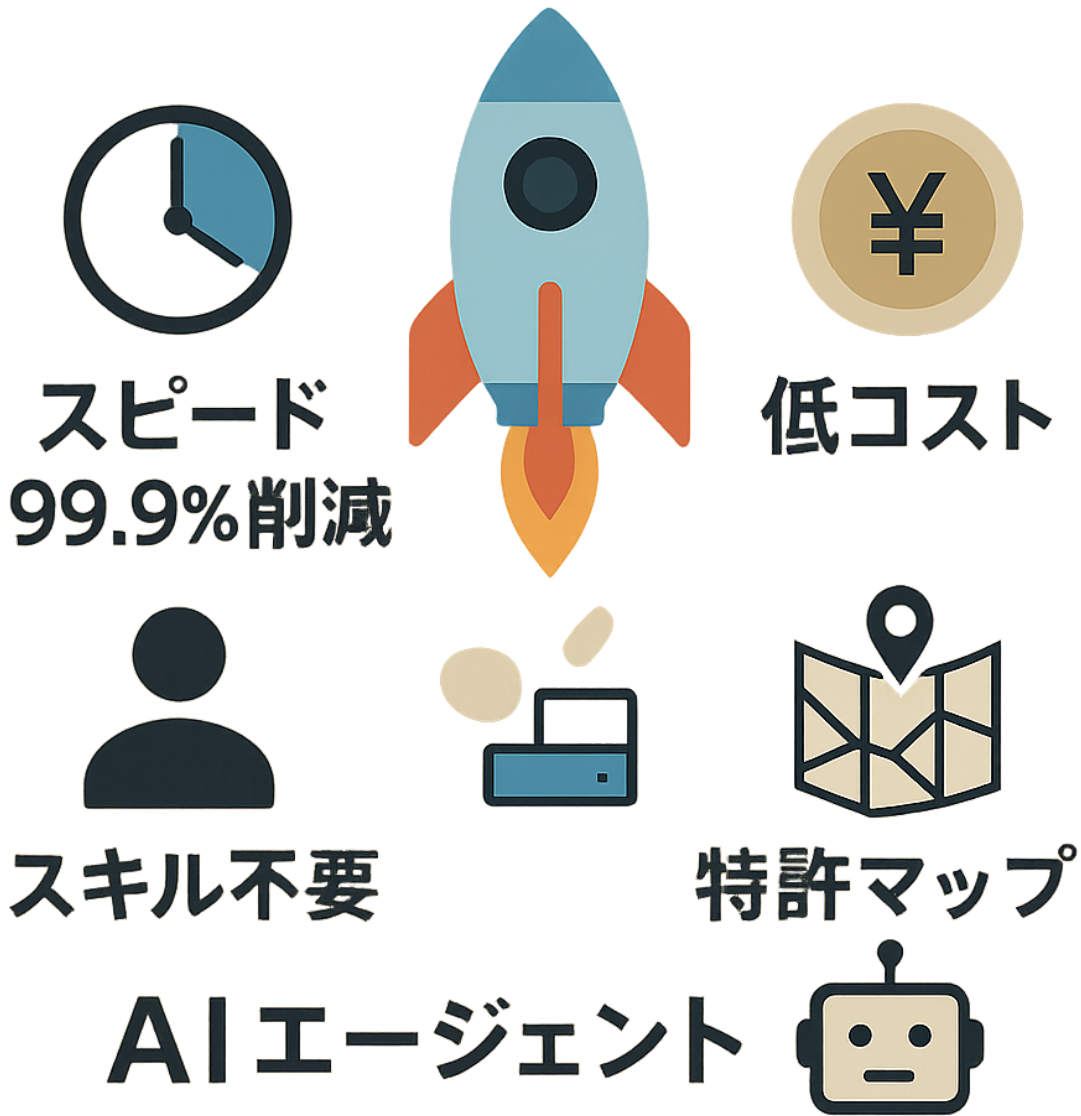
2.2 コスト・スピード優位性

エムニは「従来外注費から最大99.9%のコスト削減」「数週間→数時間の工数短縮」を謳う。ユーザー検証でも1000件超のCO₂回収特許群を45分で分類可視化した事例が示され、特許翻訳も1文献数十円で済む環境を提示した。^{[4] [6] [7]}

2.3 精度と独自アルゴリズム

学習後Llama3モデルがBLEU・RIBESでGPT-4oを上回った翻訳ベンチ結果が公開され、請求項比較による侵害判定アルゴリズムも紹介された。Radar QFDとの第三者比較では、粒度調整・ノイズ除去機能の完成度が優位と評価されている。^{[4] [8]}

AI特許ロケットの特徴



AI特許ロケットの価値提案をまとめたインフォグラフィック

2.4 UI／UX設計

調査ジョブを「母集団生成→マップ生成→示唆確認→再深掘り」という4ステップに統一し、非専門職でも迷わずPDCAを回せる導線が高く評価された。^{[11][12]}

3．来場者反応と業界評価

3.1 来場者・SNSの声

X上では「生成AIでここまで実務に踏み込んだツールは初」「ノイズ除去が秀逸」など肯定的な投稿が多数確認された。ブース体験者アンケート（回答265件）では「レポート品質が既存外注並み」78%、「導入意向あり」61%と好感触を得ていると同社は公表した。^{[19][15]}

3.2 専門家レビュー

有識者向けラポレポートは「特許地図を1時間で描けるインパクト」と潜在力を高く評価する一方、「黎明期ゆえ成果の質検証が今後の鍵」と慎重姿勢も併記した。別の独立調査レポートは速度・コストで満点、翻訳精度で業界平均超、説明可能性でGraph AI系に劣後と多面的に採点している。^{[8] [7]}

3.3 メディア報道

PR TIMES公式リリースは「知財調査・分析費用を生成AIで99.9%削減」と大きく打ち出し、複数の業界紙が転載した。イベント総括記事では「AIロケットは特許AIツールの新星」と位置づけられ、AmplifiedやPatSeerと並ぶ注目株と紹介された。^{[6] [3] [10]}

4 . 課題と今後の展望

4.1 指摘された課題

- ・分析論理のブラックボックス化に対する説明責任——専門家層は根拠提示機能を要望。^{[8] [7]}
- ・実務導入時のオンプレ運用コスト——AIモデルを社内で動かす際のGPU要件が高いとの指摘。^[11]
- ・国際分類コード未対応分野の検索精度——食品・医薬系で一部ヒット率低下が報告。^[7]

4.2 エムニの対応計画

エムニは来春までに

- ① 特許分類ビューと根拠リンクの強化
 - ② GPU不要の軽量蒸留モデル提供
 - ③ 商標・意匠データ統合版β
- を公開予定と発表した。^{[6] [12]}

5 . 結論

AI特許ロケットは、生成AIと独自アルゴリズムを融合し「スピード」「低コスト」「非専門ユーザビリティ」を高次元で両立させた新世代特許分析ツールである。2025 知財・情報フェアでは連日満席の講演とブース体験を通じ、実務家に強い印象を残した。現段階では精度検証・運用コストが課題として残るものの、業界の分析PDCAを根底から短縮しうるポテンシャルは大きい。今後の機能拡張と実運用事例の蓄積が、本格普及の鍵を握るだろう。^{[4] [1] [6] [2] [8] [7]}



1. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/8fd734b2c9a4d59aa9b7.pdf>
2. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf
3. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/f6dd341e3cff15206ac3.pdf>
4. [Zhu-Shi-Hui-She-emuni_Zhi-Cai-Qing-Bao-huea-kanhuarensu2025_Jiang-Yan-Zi-Liao.pdf](#)
5. https://x.com/emuni_kyoto/status/1965985980642705703
6. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000134983.html>
7. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/a9d12d0a6a1122850daa.pdf>
8. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/4f4dd7d6450eec6e7070.pdf>

9. https://x.com/emuni_kyoto/status/1914593162015711440
10. <https://chizaizukan.com/news/7lQTJwNwzZq1riA4qS5Kii/>
11. <https://note.com/tshioya/n/n693af7673e97>
12. <https://www.emuniinc.jp>
13. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v3.pdf
14. https://www.youtube.com/watch?v=Fa_1gxj7OoE
15. <https://www.emuniinc.jp/service/ai-patent>
16. <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000014.000086119.html>
17. <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000013.000086119.html>
18. https://note.com/super_ip_expo/n/ncd61d71414b8
19. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/01/pifc2025yoko_v1.pdf
20. <https://super-ip-expo.com/2025>
21. <https://pifc.jp/2025/>
22. [https://dxpo.jp/real/fox/nagoya25/sales/product.html?supplier_id=1469&company_name=\(株\)エムニ](https://dxpo.jp/real/fox/nagoya25/sales/product.html?supplier_id=1469&company_name=(株)エムニ)
23. <https://pifc.jp/2025/visit/>
24. [https://dxpo.jp/real/fox/tokyo25/system/product.html?supplier_id=1469&company_name=\(株\)エムニ](https://dxpo.jp/real/fox/tokyo25/system/product.html?supplier_id=1469&company_name=(株)エムニ)
25. https://zenn.dev/jinjer_techblog/articles/c44845cfc3a65a
26. <https://www.in-fra.jp/long-internships/articles/4487>
27. <https://media.emuniinc.jp/2025/06/27/intellectual-property-strategy/>
28. <https://make.dmm.com/print/>
29. <https://auba.eiicon.net/projects/39028/quality>
30. <https://happyell.co.jp/expo2025-abroad>
31. <https://media.emuniinc.jp/2025/06/29/intellectual-property-research/>
32. <https://iptops.com/news/1118347>
33. <https://media.emuniinc.jp/2025/05/30/manufacturing-industry-ai-utilization/>
34. <https://www.emuniinc.jp/news/detail/v-mkluxbr>
35. <https://www.wantedly.com/portfolio/projects/73716>
36. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v4.pdf
37. <https://www.tokkyo.ai/pvt/>
38. <https://www.tv-tokyo.co.jp/plus/external-pr/entry/34687.html>
39. <https://note.com/fmatsumoto/n/nc92e4ee72a72>
40. https://www.emuniinc.jp/news/detail/quw_zesvpvy
41. <https://yoroziupsc.com/blog/ai8849262>
42. <https://media.emuniinc.jp/2025/06/27/intellectual-property-ai/>
43. <https://news.3rd-in.co.jp/article/28b6ff4c-7ca2-11f0-b844-9ca3ba083d71>
44. https://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2024book/24_4_04.pdf
45. https://note.com/yutori_jd/n/n917a1e9927fa
46. https://note.com/tokkyo_ai/n/n9b630e0f45ae

47. https://x.com/emuni_kyoto/status/1965986159345152487
48. <https://www.tmi.gr.jp/eyes/blog/2024/16314.html>
49. <https://note.com/rshd/n/n86106121a853>
50. https://www.wantedly.com/companies/company_6183378
51. <https://note.com/rshd/m/mec462000eca3/hashtag/543160>
52. <https://www.yu-kobalaw.com/notes/玉石混交のai関連発明/>
53. <https://media.emuniinc.jp/2025/05/29/business-model-patent/>
54. <https://patent-revenue.iprich.jp/一般向け/2893/>
55. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/73/7/73_274/_pdf